

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	河川事業				
地区名	二級河川 梅田川水系半尻川				
事業箇所	豊橋市				
事業のあらまし	<p>半尻川は、豊橋市雲ヶ谷町に源を発し、愛知県と静岡県の県境を南流し梅田川へ合流する、法河川延長約 2.9 km(愛知県管理区間開始点 1k148 においては法河川延長 1.4 km)、流域面積は 2.65 km² の二級河川である。</p> <p>当該流域では、昭和 46 年の台風 8 号や平成 3 年、平成 5 年の豪雨などで浸水被害を受けている。このため半尻川では、静岡県管理区間 (0k004~1k148) について、静岡県により昭和 53 年に梅田川(半尻川)の河川計画が作成され、昭和 53 年度から改修が実施され、静岡県管理区間は年超過確率 1/30 で改修が完了している。</p> <p>また、愛知県管理区間 (1k148~上流端) では、平成 2 年に二級河川梅田川水系全体計画書を作成し、年超過確率 1/5 (1 時間雨量 46 mm) の規模洪水に対し安全に流下させることを目標に、河道の拡幅や掘削等を実施している。</p> <p>本事業は静岡県境 (1k168) ~橋梁 (1k896 付近) の区間を改修し、越水及び越流被害を解消するために、当面 W=1/5 対応で L=728m 区間について早急に整備し、住宅地への浸水被害を軽減する河川改修を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年超過確率 1/5 (1 時間雨量 46 mm) 規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、平成 42 年までに整備を完了させる。 <p>【副次目標】 (必要に応じて記載する)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 				
計画変更の推移		事業採択時 (H11)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H11~H42(予定)	H11~H42(予定)	変更なし	
	事業費(億円)	5.28	5.28	変更なし	
	経費内訳	工事費	4.78	4.78	変更なし
		用補費	0.20	0.20	変更なし
その他		0.30	0.30	変更なし	
事業内容	河道拡幅 河床掘削 事業延長 L=728m	河道拡幅 河床掘削 事業延長 L=728m	変更なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県管理区間は年超過確率 1/30 で改修が完了しているが、上流の愛知県管理区間は流下能力が不足しており、過去に昭和 46 年の台風 8 号や平成 3 年、平成 5 年の豪雨などによる浸水被害を受けていることから、流下能力が低い静岡県境 (1k168) ~橋梁 (1k896 付近) の区間について河川の整備が急務となっている。 <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業採択時(平成 11 年)以降、浸水被害の報告は確認されていない。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 11 年(世帯数は平成 13 年)から 27 年にかけて、豊橋市の人口は 3.5%増加している、世帯数は 13.7%増加している。また、土地利用状況は、平成 11 年から 27 年にかけて、宅地が 10.2%増加し、農地は 5.9%減少している。このことから、河川への雨水の流出量は、やや増えていると推定できる。(豊橋市に対する半尻川流域の面積比率は 1.6%である。) 			

判定	<p>A</p> <p>○ A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																															
	<p>【理由】流域内の資産が増加しているため、事業採択時に比べて必要性が増大していると考えられる。</p>																																																																															
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H11～H23(13年)</th> <th>H24～H28(5年)</th> <th>H29～H33(5年)</th> <th>H34～H42(9年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事 ・河道改修</td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td>1.71</td> <td>0.66</td> <td>1.50</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="2">1.78</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.939</td> <td>0.188</td> <td>20.0%</td> <td>0.793</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.37</td> <td>1.78</td> <td>75.1%</td> <td>5.28</td> <td>33.7%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.67</td> <td>1.08</td> <td>64.7%</td> <td>4.78</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.20</td> <td>0.20</td> <td>100.0%</td> <td>0.20</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>100.0%</td> <td>0.50</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 護岸工 L=181m 用地 A=1,178 m²</p>			H11～H23(13年)	H24～H28(5年)	H29～H33(5年)	H34～H42(9年)	工種 区分	調査・設計	←	→			用地補償	←	→			工事 ・河道改修		←	←	→				←	→	事業費 (億円)	前回計画	1.71	0.66	1.50	2.00	実績	1.78					これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.939	0.188	20.0%	0.793	23.7%	事業費(億円)	2.37	1.78	75.1%	5.28	33.7%	工事費	1.67	1.08	64.7%	4.78	22.6%	用補費	0.20	0.20	100.0%	0.20	100.0%	その他	0.50	0.50	100.0%	0.50	100.0%
			H11～H23(13年)	H24～H28(5年)	H29～H33(5年)	H34～H42(9年)																																																																										
工種 区分	調査・設計	←	→																																																																													
	用地補償	←	→																																																																													
	工事 ・河道改修		←	←	→																																																																											
				←	→																																																																											
事業費 (億円)	前回計画	1.71	0.66	1.50	2.00																																																																											
	実績	1.78																																																																														
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																												
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																											
延長(km)	0.939	0.188	20.0%	0.793	23.7%																																																																											
事業費(億円)	2.37	1.78	75.1%	5.28	33.7%																																																																											
工事費	1.67	1.08	64.7%	4.78	22.6%																																																																											
用補費	0.20	0.20	100.0%	0.20	100.0%																																																																											
その他	0.50	0.50	100.0%	0.50	100.0%																																																																											
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・下流静岡県管理区間の工事が完了後、工事着手となったため。</p>																																																																															
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 今後の阻害要因は特になし。</p> <p>【今後の見込み】 特に大きな阻害要因は見込まれないため、計画通り平成42年に完了する見込である。</p>																																																																															
判定	<p>B</p> <p>○ A: これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまで事業が長期化していたが、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																															

		<p>【理由】 今後は大きな阻害要因は見込まれないため、計画通り平成 42 年に完了する見込であるため。</p>
<p>Ⅲ 対応方針</p>		
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>	
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>		
<p>■対象（事業完了後 年目） <input type="checkbox"/>対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 ・ 想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後 5 年位内に想定規模同等の降雨が発生した場合にその効果を検証すること。 【主な評価内容】</p>		

